

●ようこそ Part-I

台中大屯RCより林 俊顕（はやし としあき）様が Make-Upでお越し下さいました。



●ようこそ Part-II

浦和RCより安東清治（あんどう せいじ）様がお越し下さいました。



●ようこそ Part-III

ゆりヶ丘学園の横山様が、例会前にPRにお越し下さいました。
また併せて、手作りプリンなどの販売がありました。



次回予告

10月18日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム
点鐘/12:30

高橋明賢ガバナー補佐 公式訪問前訪問

次々回予告

10月25日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム
点鐘/12:30

中川高志ガバナー 公式訪問
クラブ協議会（各委員長 発表）



国際ロータリー第2770地区
第11グループ

Weekly Report
No. 12

●定例会 第2867回
2018年10月11日配布

〒332-0012 川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL. 048-222-0124 FAX. 048-222-0118
<http://www.kawaguchi-rc.com>



Be The Inspiration

あいさつ

会長 岡村 睦美

本日は米山奨学生王君の卓話です。

王君は中国の名門・北京大学大学院修士課程を卒業し、日本語を専攻し、又、弁護士資格も持っている優秀な人材です。

日本の小説を現在までに7冊も中国語に翻訳しております。

残念ながら、中国で出版されたのは1冊のみです。なぜなら、中国では政府の許可なくして出版が出来ないからです。

王君は日本の歴史に対し興味を持ち勉強し続け、中国翻訳をし続けています。残念ながら、近代史の解釈が日本と中国の間では、未だに大きな隔りがあります。

私が王君から貰って読んだ小説は、日本を舞台にするのではなく、次世界大戦のノルマンディー大作戦を題材としたもので「船上のcock」というものです。

戦争について、友情について、そして人類の成長について考えさせられる壮大なテーマです。

私はその本を読み、王君が何故この本を中国語に翻訳したのかを考えました。20世紀は戦争で最も殺戮が行われた世紀です。その時代の中で、日本語を勉強することによって、政治を超えた人間関係の信頼、友情を育みたいという強い思いを感じました。

「芸術は社会を変えられない。しかし、人間を変えられる。」という言葉があります。

芸術に携わる私にとっては、いつも胸に刻んでいる思いです。

王君がロータリークラブとの交流を通して、暖かい親切、思いやり、友情を感じて頂ければ、米山奨学生を預かった大きな意味があると信じています。

又、王君は日本人と交流する貴重な機会をロータリークラブという大きな家族の中で与えられました。

皆様、王君をあたたかい心でこれからも接してあげて下さい。

宜しく願い申し上げます。

